

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 30 日 (2015.7.30)

【公開番号】特開 2014-159 (P2014-159A)

【公開日】平成 26 年 1 月 9 日 (2014.1.9)

【年通号数】公開・登録公報 2014-001

【出願番号】特願 2012-136270 (P2012-136270)

【国際特許分類】

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

G 0 2 B 21/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 19/00 5 0 8

G 0 2 B 21/06

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 12 日 (2015.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照明光源から発せられた照明光を患者眼に向けて照射させる照明光学系と、前記照明光によって照明された患者眼を観察する観察光学系と、を備える眼科用手術顕微鏡であって

、
前記照明光学系は、患者眼に向けて照射される前記照明光の結像状態を変更させるための変更手段を備えることを特徴とする眼科用手術顕微鏡。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の眼科用手術顕微鏡において、

前記変更手段は、前記照明光学系の光路に配置された光学素子を前記照明光学系の光軸に沿って移動させるための移動機構、又は、前記照明光学系の光路に配置され所定の光学的パワーを持つ光学素子を前記照明光学系の光軸に挿脱させる挿脱機構を有することを特徴とする眼科用手術顕微鏡。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の眼科用手術顕微鏡において、前記変更手段は、前記照明光学系の光路であって前記観察光学系の光路から外れた位置に、前記照明光の結像状態を変更させるための光学部材を備えることを特徴とする眼科用手術顕微鏡。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1)

照明光源から発せられた照明光を患者眼に向けて照射させる照明光学系と、前記照明光によって照明された患者眼を観察する観察光学系と、を備える眼科用手術顕微鏡であって

前記照明光学系は、患者眼に向けて照射される前記照明光の結像状態を変更させるための
変更手段を備えることを特徴とする。。